





























2011 運動会 雨あり晴れあり曇りあり 子どもたちの笑顔いっぱい!

















蒔き育てるなど多くの住民ボランティアが行われました。 この広場は、地域住民がトラクターなどを持ち寄り造成し、 芝の種を

地域の熱意で完成した広場には、9ホールのパークゴルフ場が整備され

これから健康づくりの場として活用されます。

その広場を、新しい地域づくりの一例として紹介します。

高齢化が進む地域で

地域のボランティアが中心に

率)は現在30%を超え、これからも増え ていくことが予想されています。 栗山町の高齢者比率(65歳以上人口比

の50%を超えています。 る限界集落(65歳以上人口比率50%以上) 人口が60%を超え、一般的に言われてい 人たちが住む集落で、

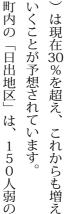
多目的広場」が完成しました。

心となり、地域の意見を調整し、町への 要請を行うなど、当時の関係者は「地域

> と、地域にとっては、そこからが大変 平成21年5月、造成することが決まる

日間。合計344日分のボラ どを動員し、延べ104日間 の作業となりました。その間、 ラクター3台、ブルト ティアで行います。幸い、地 どの造成を地域住民のボラン を所有している方も多く、 域にはトラクターなどの重機 ンコの根を抜く作業、整地な でした。敷地に残っていたオ 1台、パワーショベル1台な 人力による奉仕は延べ240 ゖ゙゙゙゙゙゙



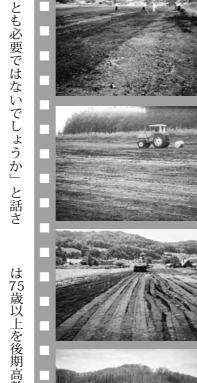


その「日出地区」で5月の末、「日出 その内65歳以上の

平成20年8月から日出連合町内会が中

の熱意」を相当感じたと話しています。

は75歳以上を後期高齢者なんて呼んでい



. .



半数が80歳以上です。この広場を造る 出地域の65歳以上は90人います。その にあたって、僕よりも一回り上の人が 一生懸命ボランティアをしてくれまし 佐藤会長は、こう問いかけます。「日 90歳を超える方々がです。世間で

歳) は、

「高齢の地域住民が率先してボ

されています。会長の佐藤清光さん(78 つの町内会が連合し、63戸の家庭で構成

意を表します。もしかしたら、逆に若い

ランティアをしてくれたことに感謝と敬



むことを考えます。自分たちが楽しむた

自分たちで何らかの負担するこ

れます。「これから広場を活用し、

楽し

とが満場一致で決まりました。」と話さ 会総会で、ボランティアで作業に入るこ の強さや熱意を感じます。2年前の町内 れません。日出住民のボランティア精神 人たちなら忙しくてできなかったかもし

後期高齢者とは? とではないでしょうか?するべきではな で定義づけをすることは、その人、そこ て言っていられないんです。年齢や比率 ません。よく言われる「限界集落」なん ますが、その言葉はこの地域では通用し いと思います」と話しています。 に現実に生きている人に対して失礼なこ

地域の熱意で

日出連合町内会は、その名のとおり5

均73歳の方々がされました。

はなんと8歳。重機操作は少し若くて平

手作業によるボランティアの平均年齢

ンティアが行われました。

る考え方も一歩進んでいます。「10年以 とか理解してもらいましたがね…」と苦 になる方から相当言われましてね。 です。これを決めた時は、次の年に70歳 そうもいかない。そのため、最初のお祝 88歳の米寿ですし、その次は9歳の白寿 た。しかし、これだけ年配者が増えると いとして、 上前には、70歳以上の方を対象に敬老祝 いは77歳の喜寿からと決めました。 次は さらに、日出町内会では、 地域で祝い膳を囲んでいまし 敬老に対す なん

> 7,884㎡、9ホールのパークゴルフ場です ルに2つのティをもち、白・黄の2コー

残っているかわかりませんが、年齢な 地域の人たちと楽しむことを考えます。 んか考えないで、生きている限り頑張 人生わずか30000日と言われてい これからも頑張る! 佐藤会長は続けます。「これからも、 82年と少しです。 私にあと何日 スで18ホール分を楽しめます。

皆さんに使ってほしい

りたいと思います」と…。

ます。自由に楽しんでください」と話 を皆さんに使っていただきたいと思い ろいろな人たちの協力で造ることがで みんなで造り上げ、管理するこの広場 きました。本当に感謝しております。 しています。 最後に佐藤会長は「この広場は、

平成23年度栗山消防団春季連合消防演習。表彰者



長年ありがとうございました



厚生労働大臣表彰*村上美枝子さん



長く民生委員を務められた村上美枝子さん (継立) が厚生労働大臣の特別表彰を受賞し6月9日、役場 応接室で椿原紀昭町長から表彰状が伝達されました。 村上さんは昭和55年から昨年11月末に退任される までの30年間、民生委員・児童委員として地域の 福祉向上に貢献してこられました。その間、栗山町 民生委員児童委員協議会の副会長を 15 年間務めら れるなど、町の社会福祉向上にも努められました。 表彰状を手にした村上さんは「みなさんのお陰で務 めあげることができました。ありがとうございます」 と話していました。

全国教育委員会表彰*磯野武司さん



平成 10 年から 12 年間余り、町教育委員会の委員長 を務められ昨年末退任された磯野武司さん(中央4) 全国市町村教育委員会連合会より表彰 状が贈られ、6月16日、鈴木紀元教育長から伝達 されました。磯野さんは12年間を振り返り「全国 で相次いだ"いじめ自殺事件"の対応で、一時、教 育委員会不要論が渦巻いた時期がありました。栗山 は行動する教育委員会として活動し、いじめ実態調 査の実施や、北海道が行う家庭教育サポート企業制 度に取り組み町内 100 社以上の賛同が得られるな ど、成果を出せたと思います」と話していました。



◇精勤章(勤続25年)

◇勤続章

日本消防協会定例表彰

消防庁長官表彰

※敬称略

◇精勤章(勤続20年) 塩見 黒河一也(第1分団班長) 望 (第1分団班長)

◇精勤章(勤続15年) 川畑憲吾(第2分団班長)

桐田憲明(第3分団班長)

◇感謝状

(退団者)

(元第2分団部長)

南空知消防組合管理者表彰

椛澤正則(第1分団部長)

鈴木英雄 小針

(第3分団分団長)

清

(第1分団分団長)

八手健治 (第3分団団員)

団長表彰

◇功績章 ◇精勤章(勤続10年) 宮本 山田晃博 武 (第2分団団員) (第3分団班長)

◇精勤章(勤続5年) 飯尾隆亮 野澤裕実 (第3分団団員) 大西剛史 (第3分団団員) 川崎太樹 (第3分団団員) (第3分団団員)

◇精積章

小針

清

(第1分団分団長)

◇功績章

南坂明憲

(第2分団副分団長)

武田

(元第2分団班長)

幅田正志 藤田栄治 金森正明

(元第3分団班長) (元第2分団班長)

横山幸二

(元第1分団団員)

清水哲矢 不破 猪熊政信第3分団団員) 國岡晃平(第3分団団員) 富樫真由 小川貴臣 潤 (第3分団団員) (第3分団団員) (第3分団団員) (第3分団団員)

◇精勤章

(勤続30年)

谷永良一 (第1分団班長)

椛澤正則

(第1分団部長)

鈴木英雄 (第3分団分団長)

宮本

武

(第3分団班長) (第2分団班長)

古田敏幸

◇勤労章

瀧澤茂和

(第2分団団員)

中谷

保(第3分団班長)

田鎖充雄

(第1分団副分団長)



◇優秀章

亀森辰雄 高野龍一 越前谷孝行 (第2分団団員) (第2分団団員) (第1分団団員)

沼田政則 (第1分団団員)

谷内智隆 中島昌一 (第3分団団員) (第3分団団員)

八手健治 (第3分団団員)



月の町教育委員会主催「地方自治講座」受講生 ター「しゃるる」で開かれました。今年2~ 制定に向けた、 5人が「住民が主体となった条例づくりを」と 本条例をつくる会」が6月17日、総合福祉セン いう理念のもと、 「まちの憲法」 とも言われる自治基本条例の 町とともに準備を進めてきま 回目の「くりやまの自治基

今回の第一回会議では、 公募による12人が集

さんを選出しました。 し、会の代表に高橋慎さん、 副代表に菊池鉄男

まり、会の名称や目標など基本的なことを協議





会の目標

会の期間 条例の骨子(素案)を作成し町長に提案

一会の考え方 れた日まで) 会以外の多くの町民の参加のもと策定を進める。 平成23~24年度の概ね2年間(条例が制定さ

町議会や町とも連携しながら策定を進める。

組みや町民参加のあり方など、テーマごとに検 団体との懇談会など、多くの町民に参加しても の条例づくり。 討を進め、 らう機会をつくりながら、役場や議会運営の仕 「つくる会」では今後、 栗山町の実態にあった を目指しています。 アンケー 『町民のため ト調査や各

■会の参加者 ※敬称略

(角田)、田中秀典 (継立)、清水滋子 (桜丘1) 尾﨑政春 (桜丘1)、 (桜丘2)、代表(中央 永田英隆

冬野大希 (朝日4)、 高橋慎代表(松風4)、菊池鉄男副代表(中 木隆夫(湯地)、井田一惠(桜丘1)、 1)、大沼英明(松風2)、小林弘和

難みんなでつくる 記ちの震波

6

萩野佳記(継立)